

# 「育ももう新たな芽」 さやまの子が誇りを持てるまちづくり

## 平成27年度市長施政方針

平成27年第1回定例市議会(会期:2月19日～3月13日)で、仲川市長が市政運営に向け、施政方針を述べました。その概要と27年度の重点事業をお知らせします。



施政方針を述べる仲川市長

### 第3次狭山市総合振興計画後期基本計画の最終年度 元気な狭山の実現に向けて目標の達成に全力を傾注

私は、市長就任以来、「市民や地域が元気になれば必ず市は発展する」との思いから、「元気な狭山をみんなで作る」をスローガンに、全力で市政運営に取り組みしてきました。

第3次狭山市総合振興計画では、誰もが住み続けたいと思える魅力と活力にあふれたまちの創造を目指して施策を展開し、また、市民の視点に立った行政サービスを提供していくことを基本に、さまざまな分野で行政改革を推進してきました。

こうした取り組みによって、狭山市に定住の意向をお持ちの方の割合は、平成21年度に実施した市民意識調査の58.8%から、昨年度の調査では70.2%に増加しました。これは、各種施策を計画的かつ効果的に推進してきた成果として、市民の皆さまに評価をいただいたものであると考えています。

平成27年度は、第3次狭山市総合振興計画後期基本計画の最終年度であり、「元気な狭山」の実現に向けて、計画に位置づけた重点施策を中心に積極的な予算配分を行い、目標の達成に全力で取り組みます。

「協働の推進」では、さやま市民大学を中心に、まちづくりを担う人材の育成を進め、学習の成果を協働事業や地区まちづくり推進事業につなげるなど、市民の自発的、主体的な活動を促進し、さらなる協働の推進を図ります。

「子育て支援」では、4月の子ども子育て支援新制度のスタートに合わせ、地域型保育事業や市立幼稚園での預かり保育事業を開始し、さらに入間川東小学校の敷地内に新たな学童保育室を整備するなど、一層の子育て支援策の充実を図ります。

「都市基盤の整備」では、狭山市駅東口土地区画整理事業の換地処

## 平成27年度予算案の総括

①第3次狭山市総合振興計画後期基本計画に位置づけた事業の完了を優先した予算配分を行った結果、一般会計の予算額は、前年度対比2.4%減の44.8億5千万円となりました。(6～9ページ参照)

②特別会計は、狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計が減額、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計は増額、合計では、前年度対比9.4%増の31.5億6千447万7千円となりました。  
③公営企業会計107億6千848万7千円を加えた全会計における予算規模は、前年度対比3.3%増の87.1億8千296万4千円となりました。

## 緑豊かで環境と共生する まちをめざして【環境共生】

地球環境の保全／住宅用太陽光発電システム設置の補助対象に、新たに地中熱や太陽熱などを活用した住宅用省エネルギーシステムも加え、事業費を2倍に増額します。



改良工事を実施し、安定的な運営管理と長寿命化を図る(稲荷山環境センター)

また、走行時に二酸化炭素などを排出しない燃料電池自動車を公用車として導入します。  
緑地保全の推進／平地林や斜面緑地の保護、市街地に残された緑地の保全活動を市民団体などと協働で推進します。  
快適な生活環境の確保／管理されていない空き家が、防災、防犯、衛生、景観などの市民の生活環境に悪影響を及ぼしていることから、空き家の実態調査を実施します。  
循環型社会の形成／不要なものを断ることやごみの減量、再利用、資源化のいわゆる「4R」の普及啓発に努め、引き続きごみの減量とリサイクルを推進します。  
稲荷山環境センター／施設の延命化を図るため、基幹的設備改良事業に取り組みとともに、二酸化炭素の排出削減に努めます。

## 元気で幸せに暮らせる まちをめざして【健康福祉】

仕事と子育ての両立支援／地域型保育事業所に移行する0歳から2歳児を対象とした家庭保育室を支援するなど、子ども・子育て支援新制度のスタートに合わせた事業を進めます。  
公立保育所／狭山台南保育所の除湿温度保持工事と耐震改修工事を実施するなど、計画的な改修を進めます。  
学童保育室／入間川東小学児童保育室を同校敷地内に新たに整備します。奥富学童保育室、柏原小学児童保育室、水富小第一・第二学童保育室は、指定管理者制度を導入し、さらなる運営の充実を図ります。  
健康づくりの推進／国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査の健診項目に「心電図」を追加するとともに、胸部レントゲン機器を更新します。また、病院受診を促す糖尿病予防プログラムに取り組みとともに、すこやか体操やウォーキングなどをとおした地域での健康づくり活動を推進します。  
地域福祉の推進／市民への啓発と福祉活動を担う人材の育成などに取り組むとともに、地域福祉関係団体の立ち上げや相互交流とネット



保育環境の質を維持するため、除湿温度保持・耐震改修工事を実施(狭山台南保育所)

トワーク化、さらに民生委員、児童委員の活動を支援します。また、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、自立支援相談事業などの法定事業を着実に実施し、生活困窮者の経済的、社会的自立を支援します。  
介護予防・介護サービスの充実／地域包括支援センターの増設や特別養護老人ホームの新設に取り組みます。また、介護保険制度の改正で創設された新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けて準備を進めるとともに、在宅医療・介護連携の推進や認知症施策のさらなる充実を図ります。  
障害者自立支援／障害のある方やそのご家族が安心して地域で生活できるように、引き続き障害の特性やニーズを踏まえた福祉サービスの提供に努めます。